

乳用牛担保管理事業実施要領

制定 平成 28 年 3 月 11 日付け 28 日畜協第 49 号

一般社団法人日本家畜商協会（以下「協会」という。）は、家畜商組合（中小企業等協同組合法に基づく事業協同組合及び事業協同組合連合会をいう。以下同じ。）が乳用牛の導入資金を金融機関から円滑に借り入れるため、借入対象乳用牛の存在確認等を実施するものとする。

第 1 事業利用対象者の資格

協会の乳用牛担保管理事業を利用できる者は、一般社団法人日本家畜商協会定款第 5 条第 1 項第 1 号ア（ア）に該当する者であって、かつ、第 5 の 3 の（1）の規定に基づき乳用牛担保管理の参加を決定した家畜商組合（以下「事業参加組合」という。）とする。

第 2 事業の内容

協会は、事業参加組合が、乳用牛の導入のために必要な資金（以下「対象資金」という。）を金融機関から円滑に借り入れるため、次に掲げる業務を行うものとする。

- （1）事業参加組合が作成した担保対象乳用牛の明細表に記載された乳用牛の個体識別情報と独立行政法人家畜改良センター（以下「家畜改良センター」という。）の牛個体識別データ（以下「トレサデータ」という。）との照合並びにその結果の事業参加組合及び事業参加組合へ対象資金の貸付を行う金融機関（以下「融資機関」という。）への報告
- （2）事業参加組合が作成した担保対象乳用牛の明細表に記載された乳用牛の評価額の当該事業参加組合及び融資機関への報告
- （3）事業参加組合の経営破綻等により融資機関に対する乳用牛導入資金の返済が滞った場合に融資機関からの依頼に基づき実施するバックアップスキームの提供
- （4）事業参加組合の乳用牛担保管理事業に係る預託対象者の経営破綻等により事業参加組合の他の組合員に対する預託先の変更が不調となった場合に事業参加組合からの依頼に基づき実施するバックアップスキームの提供

第 3 事業の実施期間

この事業は、平成 28 年度から当分の間実施する。

第 4 事業の経理処理

協会は、この事業を他の事業と区分して経理するものとする。

第 5 事業の実施

1 乳用牛担保管理の依頼

協会は、事業参加組合からの依頼によって、当該乳用牛の担保管理（以下「乳用牛担保管理」という。）を行う。

2 乳用牛担保管理の参加申込み

協会に乳用牛担保管理を依頼しようとする家畜商組合は、事業開始 1 か月前（継続の場合は毎年 4 月 20 日）までに協会に融資機関を経由して乳用牛担保管理事業参加承認申請書（別紙様式 1 号）を提出するものとする。

その際、融資機関は、協会に乳用牛担保管理事業参加申請に係る意見具申書（別紙様式 2 号）を提出するものとする。

ただし、別に定める基準を満たす家畜商組合については、継続実施にかかる申請書及び融資機関からの意見具申書の提出を省略することができるものとする。

3 乳用牛担保管理の参加承認等

- （1）協会は、家畜商組合から提出された乳用牛担保管理事業参加承認申請書を審査し、参加を決定したときは、当該組合に対し、乳用牛担保管理事業参加承認書（別紙様式 3 号）を、融資機関に対し乳用牛担保管理事業参加審査結果通知書（別紙様式 4 号）を交付するものとする。

- る。
- (2) 事業参加の諾否の決定は、審査委員会の答申に基づいて、協会の会長（以下「会長」という。）が行うものとする。
- (3) 協会は、諾否の決定に当たり必要があるときは、実地調査を行うことができるものとする。
- 4 三者協定書の締結等
- 協会は、乳用牛担保管理事業の参加承認を行ったときは、この実施要領によって事業を運営するために、家畜改良センターに対し、トレサデータの提供を依頼するものとする。
- また、協会は事業参加組合及び融資機関から要望があったときは、別に定める三者協定書を締結することができるものとする。
- 5 個別の申込み手続き
- 事業参加組合は、協会の乳用牛担保管理に係る借入をしようとするときは、遅滞なく融資機関を経由して、協会に乳用牛担保管理依頼書（別紙様式5号）を提出するものとする。
- その際、協会の乳用牛担保管理に係る貸付をしようとする融資機関は、協会に乳用牛担保管理協議書（別紙様式6号）を提出するものとする。
- ただし、乳用牛担保以外の方法（理事の連帯保証等）による借入の場合、融資機関は、乳用牛担保管理協議書の提出を省略できるものとする。
- 6 乳用牛担保管理の承諾
- 協会は、事業参加組合から提出された乳用牛担保管理依頼書及び融資機関からの乳用牛担保管理協議書を審査し、乳用牛担保管理を承諾するときは、乳用牛担保管理を依頼した事業参加組合に対し、乳用牛担保管理承諾書（別紙様式7号）を、融資機関に対し乳用牛担保管理承認書（別紙様式8号）を交付するものとする。
- 7 導入直後に担保対象乳用牛の存在確認を行う場合の手続き
- (1) 家畜商組合等からの申込み
- 預託牛を導入した直後に融資機関から協会の乳用牛担保管理に係る借入れをしようとする事業参加組合は、融資機関を経由して借入日の10日（休業日の場合は翌営業日）前までに、協会に上記5の乳用牛担保管理依頼書及び担保対象乳用牛の明細表等（預託牛基本情報登録シート）を協会へ電子媒体で提出するものとする。
- (2) 担保対象乳用牛の存在確認等に係る手続き
- ア 協会は、預託牛基本情報登録シートに入力された乳用牛の個体識別情報とトレサデータとの照合を遅滞なく行うものとする。
- イ 協会は、アによる照合の結果、預託牛基本情報登録シートに入力された乳用牛の個体識別情報とトレサデータとに差異が検出された場合、預託牛個体情報マッチングリスト等により事業参加組合へ報告するものとする。
- ウ 事業参加組合は、預託牛個体情報マッチングリストの出力内容を検証のうえ、預託牛基本情報登録シートについて必要な修正を行い、修正後の情報及び修正内容を協会へ電子媒体で提出するものとする。
- エ 協会は、預託牛基本情報登録シートに入力された乳用牛の個体識別情報とトレサデータとに差異が検出されなかった場合及び当該事業参加組合からのウの情報に基づきその内容を確認した場合は、事業参加組合及び融資機関へ紙媒体等で報告（結果報告の様式は別紙様式9号）するものとする。
- 8 導入直後以外の時期における担保対象乳用牛の存在確認等に係る手続き
- (1) 事業参加組合は、毎月10日（休業日の場合は翌営業日）までに、前月末日時点の担保対象乳用牛の明細表等（融資基本情報登録シート、預託牛基本情報登録シート）を協会へ電子媒体で提出するものとする。
- ただし、前月に異動事項（対象資金の新規借入・返済、乳用牛の導入・販売・死亡等）がなかったときは、担保対象乳用牛の明細表等の協会への提出を省略できるものとする。
- (2) 協会は、預託牛基本情報登録シートに入力された乳用牛の個体識別情報とトレサデータとの照合を遅滞なく行うものとする。
- (3) 協会は、(2)による照合の結果、預託牛基本情報登録シートに入力された乳用牛の個体識別情報とトレサデータとに差異が検出された場合、預託牛個体情報マッチングリストを事業参加組合へ電子媒体で報告するものとする。

- (4) 事業参加組合は、預託牛個体情報マッチングリストの出力内容を検証のうえ、預託牛基本情報登録シートについて必要な修正を行い、修正後の情報及び修正内容を協会へ電子媒体で提出するものとする。
- (5) 協会は、預託牛基本情報登録シートに入力された乳用牛の個体識別情報とトレサデータとに差異が検出されなかった場合及び当該事業参加組合からの(4)の情報に基づきその内容を確認した場合は、前月末日時点の以下の帳票を出力し、事業参加組合及び融資機関へ紙媒体等で報告(結果報告の様式は別紙様式9号)するものとする。
- ① 預託牛在庫評価集計表
(紙媒体(特に要望があったときは、電子媒体を含む。)で提供。)
 - ② 特に要望があったときに提供する報告帳票(電子媒体で提供。)
 - ア 預託牛異動状況表
 - イ 預託牛管理台帳
 - ウ 預託牛在庫評価一覧表
- (6) 協会は、情報の照合に関連し、必要があるときは、実地に調査することができるものとする。
- (7) 協会が提供する帳票以外の帳票の提供を希望する事業参加組合は、最初の乳用牛担保管理依頼書提出時に融資機関を経由して、協会に「提供を希望する報告様式及び報告形式」(別紙様式5-1号)を提出するものとする。
また、協会が提供する帳票以外の帳票の提供を希望する融資機関は、最初の乳用牛担保管理協議書提出時に、協会に「提供を希望する報告様式及び報告形式」(別紙様式6-1号)を提出するものとする。
- (8) (7)の報告様式及び報告形式の変更を希望する事業参加組合又は融資機関は、乳用牛担保管理依頼書等提出時に「提供を希望する報告様式及び報告形式(変更)」(別紙様式5-2号)(様式6-2号)を提出するものとする。
- (9) 融資基本情報登録シート等の入力帳票及び預託牛個体情報マッチングリスト等の出力帳票の様式は別添のとおりとする。
- 9 担保対象牛の評価額に係る手続き
協会は、事業参加組合又は融資機関から要望があった場合は、前月末日時点の7の(5)の預託牛在庫評価一覧表に記載された乳用牛の評価を遅滞なく行い、以下の帳票を事業参加組合及び融資機関へ紙媒体等で報告するものとする。
- (1) 預託牛在庫評価集計表に時価評価額を記入したもの。(紙媒体(特に要望があったときは、電子媒体を含む。)で提供。)
 - (2) 預託牛在庫評価一覧表に時価評価額を記入したもの。(電子媒体で提供。)
- 10 乳用牛担保管理内容の変更
事業参加組合は、協会の乳用牛担保管理の内容を変更しようとする場合は、遅滞なく融資機関を経由して、乳用牛担保管理内容変更依頼書(別紙様式10号)を協会に提出するものとする。
その際、融資機関は、変更することが適当と認めた場合は、乳用牛担保管理内容変更依頼書に乳用牛担保管理内容変更協議書(別紙様式11号)を添付して協会に提出するものとする。
ただし、乳用牛担保以外の方法による借入の場合、融資機関は、乳用牛担保管理協議書の提出を省略できるものとする。
- 11 乳用牛担保管理内容変更の承諾
協会は、事業参加組合から提出された乳用牛担保管理内容変更依頼書及び融資機関からの乳用牛担保管理内容変更協議書を審査し、乳用牛担保管理内容の変更の承諾を決定したときは、事業参加組合に対し乳用牛担保管理内容変更承諾書(別紙様式12号)を、融資機関に対し乳用牛担保管理内容変更承認書(別紙様式13号)を交付するものとする。
- 12 乳用牛担保管理の中止及び解除
協会、事業参加組合又は融資機関は、協会の乳用牛担保管理を中止又は解除しようとするときは、他の2者に対し書面による申し出を行い三者で協議のうえ決定するものとする。
- 13 審査委員会への報告
会長は、当該事業の実施状況等について、直近時に開催される審査委員会に報告するものと

する。

14 乳用牛担保管理料

- (1) 協会は、事業参加組合から協会の乳用牛担保管理を受けている債務の元本の残高につき、年0.25%の割合で計算した額を乳用牛担保管理料として徴収する。
- (2) 事業参加組合が協会の乳用牛担保管理に係る債務について期限前に繰上げ償還を行った場合には、当該繰上げ期間が1か月以上のときは、協会は乳用牛担保管理料を、当該繰上げ期間に応じ、月割り計算により払いもどすものとする。
ただし、計算の結果が1,000円未満の場合は払いもどしを行わないことができるものとする。
- (3) 乳用牛担保管理料は、乳用牛担保管理承諾書記載の乳用牛担保管理料支払期日までに（10の規定による承諾に基づいて弁済期限その他の弁済方法の変更があった場合は乳用牛担保管理内容変更承諾書記載の乳用牛担保管理料支払期日までに）、事業参加組合から徴収するものとする。
ただし、借入期間が1年を超えるとときは、乳用牛担保管理料を1年ごとに分割して徴収するものとする。
- (4) 協会は、(3)の乳用牛担保管理料を融資機関に徴収させるものとする。
- (5) 融資機関は、(4)の乳用牛担保管理料を徴収した場合、その都度これを協会に送付するものとする。
- (6) 協会は、事業参加組合が乳用牛担保管理料の納付を怠った場合は、納付期日に納付すべき額に対し納付期日の翌日から納付完了の日まで国が定める特例基準割合に年7.3%を加算した延滞金を徴収することができるものとする。
- (7) (6)の規定による延滞金の徴収については、(4)及び(5)の規定を準用する。

15 融資機関の通知義務

協会は、次の各号の一に該当する事由が生じた場合は、融資機関に遅滞なく、その旨を協会に通知させるものとする。

- (1) 協会の乳用牛担保管理に係る債権を有する融資機関が事業参加組合の期限の利益の喪失により一括弁済の請求をした場合
- (2) 協会の乳用牛担保管理に係る債権を有する融資機関が当該債権の全部又は一部の弁済を受けた場合
- (3) 協会の乳用牛担保管理に係る債権を有する融資機関と事業参加組合との間に協会の乳用牛担保管理に係る債権の更改、相殺、免除又は担保物件の変動等当該債権に影響を及ぼす事由が発生した場合
- (4) 事業参加組合の債務の履行を困難にする事情の発生を予見した場合
- (5) 事業参加組合の債務の履行がなされなかった場合

第6 バックアップスキームの提供

- (1) 協会は、事業参加組合の経営破綻等に伴い融資機関から協会へバックアップスキームの提供依頼があった場合は、別に定める「乳用牛担保管理事業における家畜商組合の経営破綻等に関する支援要領」に基づき実施するものとする。
- (2) 事業参加組合の乳用牛担保管理事業に係る預託対象者の経営破綻等に伴う手続き等は、別に定める「乳用牛担保管理事業参加組合員の経営破綻等の対応要領」を基準として事業参加組合が定めるものとする。

第7 帳簿等の整備保管等

1 帳簿等の整備保管

- (1) 事業参加組合は、乳用牛担保管理に係る関係書類を他と明確に区分し整備保管するものとし、その保管期間は、個別の乳用牛担保管理が完了した年度の翌年度から起算して7年間とする。
- (2) 協会は、この事業に係る経理を適正に行うとともに、その内容を明らかにした帳簿及び関係証拠書類を整備保管するものとし、その保管期間は、個別の乳用牛担保管理が完了した年度又は乳用牛担保管理事業を閉鎖した年度の翌年度から起算して7年間とする。

2 事業実施状況等の聴取等

会長は、この実施要領に定めるもののほか、事業実施状況等について必要に応じ、事業参加組合に対して調査し又は報告を求めることができるものとする。

3 本要領等の制定、改正及び廃止

(1) 本要領の制定及び廃止については、理事会の議決を経て行う。

また、事業の内容又は乳用牛担保管理料の負担に関する本要領の改正についても同様とする。

(2) 会長は、(1) 以外の本要領の改正並びにこの事業の実施につき必要な事項の制定、改正及び廃止を行うことができるものとする。この場合、会長は審査委員会に諮るものとする。

附則（平成 28 年 3 月 11 日決定）

この要領は、理事会の承認のあった日から施行し、平成 28 年 4 月 1 日から適用する。

(別紙様式1号)

乳用牛担保管理事業参加承認申請書

番 号
平成 年 月 日

一般社団法人 日本家畜商協会
会 長 殿

(参加申込者) 名 称 ○○家畜商業協同組合
代表者 理事長 ㊟

今般、下記資金の借入に当たり貴協会の乳用牛担保管理事業の参加を承認願いたく、申請いたします。

記

借 入 金 融 機 関 名	
借 入 の 方 法	
借 入 限 度 額	円
借 入 金 の 使 途	預託牛購入資金
借 入 予 定 日	平成 年 月 日
担保管理開始予定日	平成 年 月 日
弁 済 方 法	
当該事業参加組合員数	人
当該事業での乳用牛 年間購入予定頭数	頭
そ の 他	

添付資料

直近3か年分の事業報告、貸借対照表、損益計算書、付属明細書、剰余（損失）金処分（処理）

(別紙様式2号)

乳用牛担保管理事業参加申請に係る意見具申書

平成 年 月 日

一般社団法人 日本家畜商協会
会 長 殿

所在地
(金融機関) 名 称
代表者

㊞

貴協会に対する〇〇家畜商業協同組合の乳用牛担保管理事業参加承認申請（別紙申請書のとおり）について、貴協会が参加を承認された場合、当行は同組合に対し乳用牛担保管理による貸付を行うこととしていますので、承認されたく具申します。

(別紙様式3号)

乳用牛担保管理事業参加承認書

平成 年 月 日

〇〇家畜商業協同組合
理事長 殿

一般社団法人 日本家畜商協会
会 長 印

平成 年 月 日付け 号にて承認申請のありました乳用牛担保管理事業の参加については、
本日付けで承認します。

つきましては、平成 年 月 日までに乳用牛担保管理事業参加組合員全員の同意書（様式は別
添のとおり。）を送付願います。

以上

別添

同 意 書

平成 年 月 日

独立行政法人家畜改良センター理事長 殿

同意管理者

氏名又は名称

印

住所又は所在地

管理者等

コード番号

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

私は、「独立行政法人家畜改良センター牛個体識別全国データベース利用規程」第4条第三号の規定により、下記1の利用者が、下記2の利用目的のため、家畜改良センターより、牛の個体識別のための情報の管理及び伝達に関する特別措置法施行規則（平成15年農林水産省令第72号）第6条に係る私の情報を取得することに同意します。

記

1 利用者

- ・氏名又は名称 一般社団法人日本家畜商協会
- ・住所又は所在地 東京都中央区新川2-6-16

2 利用目的

一般社団法人日本家畜商協会の乳用牛担保管理事業（家畜商業協同組合が作成した担保対象牛の明細表に記載された乳用牛の個体識別番号と貴センターの牛個体識別データとの照合を行い、その結果を当該組合及び金融機関へ報告する等の事業）を利用することにより、同意管理者が組合員となっている家畜商業協同組合が乳用牛購入資金を円滑に借り入れ出来るようになり、これにより同意管理者の乳用牛経営の拡大並びに家畜商業協同組合の肉用牛預託事業の拡大が図れる。

3 その他

利用期間は、一般社団法人日本家畜商協会の乳用牛担保管理事業に参加している間
独自農家コード 03〇〇〇〇〇（〇〇家畜商業協同組合）

（日本工業規格A4）

(別紙様式 4 号)

乳用牛担保管理事業参加審査結果通知書

平成 年 月 日

(金融機関) 名 称
代表者 殿

一般社団法人 日本家畜商協会
会 長 ⑩

平成 年 月 日付け 号にて意見具申のありました〇〇家畜商業協同組合に係る乳用牛担保管理事業については、別添写しのとおり本日付けで参加を承認しましたので、お知らせします。

以上

(別紙様式5号)

乳用牛担保管理依頼書

平成 年 月 日

一般社団法人 日本家畜商協会
会 長 殿

所在地
(組合) 名 称
代表者

印

今般、下記借入資金につき貴協会の乳用牛担保管理を願いたく、依頼いたします。
乳用牛担保管理事業の実施に当たっては、貴協会の乳用牛担保管理事業実施要領等の定めるところに従い、必ずその義務を履行いたします。

記

借入金融機関名	
借入の形式	
借入金額	円
担保管理金額	円
借入金の使途	預託牛購入資金
借入期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
担保管理期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
弁済方法	
当該借入に係る 事業参加組合員数	名
乳用牛購入頭数	頭
その他	

(別紙様式 5 - 1 号)

提供を希望する報告様式及び報告形式

平成 年 月 日

(組合) 名 称
代表者

印

当組合は、貴協会から下表のうち○を付した様式の提供を希望します。

区 分	希 望 の 有 無	報 告 様 式 及 び 報 告 形 式
(1) 在庫 情報等		別添様式 4 号 預託牛異動状況表 (電子媒体)
		別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表 (電子媒体)
		別添様式 6 号 預託牛管理台帳 (電子媒体)
		別添様式 7 号 預託牛在庫評価一覧表 (電子媒体)
(2) 評価 情報		別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表 (紙媒体)
		別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表 (電子媒体)
		別添様式 7 号 預託牛在庫評価一覧表 (電子媒体)

注) この書類は、乳用牛担保管理依頼書を最初に提出するときに、乳用牛担保管理依頼書に添付すること。

(別紙様式5-2号)

提供を希望する報告様式及び報告形式(変更)

平成 年 月 日

(組合) 名称
代表者

印

当組合は、下表の○のとおり、貴協会からの報告様式及び報告形式の提供の希望を変更します。

区分	希望の有無		報告様式及び報告形式
	変更後	変更前	
(1) 在庫情報等			別添様式4号 預託牛異動状況表 (電子媒体) 別添様式5号 預託牛在庫評価集計表 (電子媒体) 別添様式6号 預託牛管理台帳 (電子媒体) 別添様式7号 預託牛在庫評価一覧表 (電子媒体)
(2) 評価情報			別添様式5号 預託牛在庫評価集計表 (紙媒体) 別添様式5号 預託牛在庫評価集計表 (電子媒体) 別添様式7号 預託牛在庫評価一覧表 (電子媒体)

注) 1 この書類は、希望する報告様式等を変更するときに、乳用牛担保管理依頼書に添付すること。

2 「希望の有無」欄は、右欄の報告様式及び報告形式について、変更前と変更後の提供を希望するものについてそれぞれ○を記入すること。

(別紙様式 6 号)

乳用牛担保管理協議書

平成 年 月 日

一般社団法人 日本家畜商協会
会長 殿

所在地
(金融機関) 名称
代表者

㊞

下記貸付依頼の件は、審査の結果、貴協会の乳用牛担保管理事業実施要領に基づく貸付が適当と認められるので、貴協会の乳用牛担保管理を願いたく協議いたします。

乳用牛担保管理事業の実施に当たっては、貴協会の同実施要領等の定めるところに従い、必ずその義務を履行いたします。

貸付先名称	〇〇家畜商業協同組合
貸付金額	円
担保管理金額	
資金の用途	預託牛購入資金
貸付利率	%
貸付期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
担保管理期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
貸付の形式	
弁済方法	
連帯保証人	
担保	
当該貸付に係る事業参加組合員数	名
その他の条件	

(別紙様式 6 - 1 号)

提供を希望する報告様式及び報告形式

平成 年 月 日

(金融機関) 名 称
代表者

印

当行は、貴協会から下表のうち○を付した様式の提供を希望します。

区 分	希 望 の 有 無	報 告 様 式 及 び 報 告 形 式
(1) 在庫 情報等		別添様式 4 号 預託牛異動状況表 (電子媒体) 別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表 (電子媒体) 別添様式 6 号 預託牛管理台帳 (電子媒体) 別添様式 7 号 預託牛在庫評価一覧表 (電子媒体)
(2) 評価情 報		別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表 (紙媒体) 別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表 (電子媒体) 別添様式 7 号 預託牛在庫評価一覧表 (電子媒体)

注) この書類は、乳用牛担保管理協議書を最初に提出するときに、乳用牛担保管理協議書に添付すること。

(別紙様式6-2号)

提供を希望する報告様式及び報告形式(変更)

平成 年 月 日

(金融機関) 名称
代表者

印

当行は、下表の○のとおり、貴協会からの報告様式及び報告形式の提供の希望を変更します。

区 分	希 望 の 有 無		報 告 様 式 及 び 報 告 形 式
	変 更 後	変 更 前	
(1) 在 庫情報 等			別添様式4号 預託牛異動状況表 (電子媒体) 別添様式5号 預託牛在庫評価集計表 (電子媒体) 別添様式6号 預託牛管理台帳 (電子媒体) 別添様式7号 預託牛在庫評価一覧表 (電子媒体)
(2) 評 価情報			別添様式5号 預託牛在庫評価集計表 (紙媒体) 別添様式5号 預託牛在庫評価集計表 (電子媒体) 別添様式7号 預託牛在庫評価一覧表 (電子媒体)

- 注) 1 この書類は、希望する報告様式等を変更するときに、乳用牛担保管理依頼書に添付すること。
- 2 「希望の有無」欄は、右欄の報告様式及び報告形式について、変更前と変更後の提供を希望するものについてそれぞれ○を記入すること。

(別紙様式 7 号)

乳用牛担保管理承諾書

乳用牛担保 管理番号	
乳用牛担保管理 対象組合名	
乳用牛担保管理 対象金融機関名	
乳用牛担保管理の条件	
貸付金額	円
担保管理金額	円
貸付期間	自平成 年 月 日 至平成 年 月 日
担保管理期間	自平成 年 月 日 至平成 年 月 日
資金の用途	預託牛購入資金
当該借入に係る 事業参加組合員数	名
乳用牛担保管理料	1年目 円 (支払期日:平成 年 月 日) 2年目 円 (支払期日:平成 年 月 日) 送金口座 三井住友銀行 日本橋東支店 普通預金 ○○

平成 年 月 日付けでご依頼のあった乳用牛担保管理については、上記により管理致します。

平成 年 月 日

(組合) 所在地
名称
代表者

殿

一般社団法人 日本家畜商協会
会長

印

(別紙様式 8 号)

乳用牛担保管理承認書

乳用牛担保 管理番号	
乳用牛担保管理 対象組合名	
乳用牛担保管理 対象金融機関名	
乳用牛担保管理の条件	
貸付金額	円
担保管理金額	円
貸付期間	自平成 年 月 日 至平成 年 月 日
担保管理期間	自平成 年 月 日 至平成 年 月 日
資金の用途	預託牛購入資金
当該借入に係る 事業参加組合員数	名
乳用牛担保管理料	1年目 円 (支払期日:平成 年 月 日) 2年目 円 (支払期日:平成 年 月 日) 送金口座 三井住友銀行 日本橋東支店 普通預金 ○○

平成 年 月 日付けでご協議のあった乳用牛担保管理については、上記により管理致します。

平成 年 月 日

(金融機関) 所在地
名称
代表者

殿

一般社団法人 日本家畜商協会
会長

印

(別紙様式 9 号)

平成 年 月 日

(組合・金融機関) 名称
代表者 殿

一般社団法人 日本家畜商協会
会 長

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、預託牛基本情報登録シートに入力された乳用牛の個体識別情報と家畜改良センターの牛個体識別データとの確認結果（平成 年 月末日現在）は、下記 1 のとおりです。

また、本日下記 2 の書類を同封御送付いたしますので、御査収下さい。

なお、下記 3 の出力帳票を本日電子媒体にて送信いたしますので、念のため申し添えます。

敬具

記

(融資に際しての担保対象牛の存在確認結果報告の場合)

- 1 確認結果
 - (1) 当協会を確認した担保対象牛の頭数 頭
 - (2) 当協会を確認した担保対象牛の素牛購入費の合計額 円
- 2 送付書類
預託牛在庫評価一覧表
- 3 電子媒体にて送信する出力帳票
預託牛在庫評価一覧表

(上記以外の担保対象牛の存在確認結果報告の場合)

- 1 確認結果
 - 差異なし
 - 差異あり
 - ・ 預託牛基本情報登録シートの個体識別情報の頭数 頭
 - ・ 当協会の確認頭数 頭
 - ・ 差異頭数 頭
- 2 送付書類
預託牛在庫評価集計表
- 3 電子媒体にて送信する出力帳票

(別紙様式 10 号)

乳用牛担保管理内容変更願依頼書

平成 年 月 日

一般社団法人 日本家畜商協会
会 長 殿

所在地
(組合) 名称
代表者 印

今般、下記乳用牛担保管理による借入資金について、下記事由により当初の乳用牛担保管理内容の変更を願いたく、依頼いたします。

記

乳用牛担保管理 対象金融機関名			
乳用牛担保管理 開始年月日	平成 年 月 日	乳用牛担保 管理番号	
当初借入金額			現在借入残額
円			円
当初担保管理金額			現在担保管理残高
円			円
変更事項	変更前の表示		変更後の表示
理由			

(別紙様式 11 号)

乳用牛担保管理内容変更協議書

平成 年 月 日

一般社団法人 日本家畜商協会
会 長 殿

所在地
(金融機関) 名称
代表者

⑩

債務保証内容の変更について、乳用牛担保管理対象組合と協議した結果、下記のとおり変更することが適当であると認められますので、ご承認下さるよう協議します。
なお、今回、変更事項以外の事項については当初の乳用牛担保管理内容のとおりとします。
記

乳用牛担保 管理対象組合名			
乳用牛担保管理 開始年月日	平成 年 月 日	乳用牛担保 管理番号	
当初貸付金額			現在貸付残額
円			円
当初担保管理金額			現在担保管理残高
円			円
変更事項	変更前の表示		変更後の表示
理由			

(別紙様式 12 号)

乳用牛担保管理内容変更承諾書

乳用牛担保管理開始日		平成 年 月 日	
乳用牛担保 管理番号		乳用牛担保管理 対象組合名	
		乳用牛担保管理 対象金融機関名	
当初貸付金額			現在貸付残額
円			円
当初担保管理金額			現在担保管理残高
円			円
変 更 事 項	変更前の表示		変更後の表示
乳用牛担保管理料		徴収額 円 (支払期日:平成 年 月 日)	
		返戻額 円	

平成 年 月 日付けご依頼の乳用牛担保管理内容の変更については、上記のとおり承認します。

平成 年 月 日

所在地
(組合) 名称
代表者

殿

一般社団法人 日本家畜商協会
会長 印

(注) 今般、変更事項以外の事項については、全て当初の乳用牛担保管理内容のとおりとします。

(別紙様式 13 号)

乳用牛担保管理内容変更承認書

乳用牛担保管理開始日		平成 年 月 日	
乳用牛担保 管理番号		乳用牛担保管理 対象組合名	
		乳用牛担保管理 対象金融機関名	
当初貸付金額			現在貸付残額
円			円
当初担保管理金額			現在担保管理残高
円			円
変更事項		変更前の表示	変更後の表示
乳用牛担保管理料		徴収額	円 (支払期日:平成 年 月 日)
		返戻額	円

平成 年 月 日付けご協議の乳用牛担保管理内容の変更については、上記のとおり承認
します。

平成 年 月 日

所在地
(金融機関) 名称
代表者

殿

一般社団法人 日本家畜商協会
会長 印

(注) 今般、変更事項以外の事項については、全て当初の乳用牛担保管理内容のとおりとします。

別添

入力帳票、出力帳票一覧

- 1 入力帳票
 - 別添様式 1 号 融資基本情報登録シート
 - 別添様式 2 号 預託牛基本情報登録シート

- 2 出力帳票
 - 別添様式 3 号 預託牛個体情報マッチングリスト
 - 別添様式 4 号 預託牛異動状況表
 - 別添様式 5 号 預託牛在庫評価集計表
 - 別添様式 6 号 預託牛管理台帳
 - 別添様式 7 号 預託牛在庫評価一覧表

(別添様式1号)

融資基本情報登録シート

指示	組合名		承認 番号	購入資金		融資 機関名	融資 種類	融資 金額	返済額 累計	期間 (From)	期間 (To)	返済 完了日	備考
	コード	名称		名称	コード								

- 注) 1. 着色部分は必須入力部分である。
 2. 期間については、乳用牛担保管理事業は、担保管理期間を、預託牛在庫確認業務は融資期間をご記入ください。

(別添様式2号)

預託牛基本情報登録シート

指示	組合名		預託者		承認番号	整理番号	導入日	融資日	報告種		性別		個体識別番号	生年月日	添付資料		購入時体重	購入先		素牛購入費	購入資金		飼養区分		繁殖処理区分		乳用牛流通促進対策事業の対象	異動区分		売却年月日	売却価格	出荷先区分		子牛生産区分		預託期間終了(又は仕向け)年月日	備考
	コード	名称	コード	名称					名称	コード	名称	コード			名称	コード		名称	コード		名称	コード	名称	コード	名称	コード		名称	コード			名称	コード	名称	コード		

- 注) 1. 着色部分は必須入力部分である。
2. 「乳用牛流通促進対策事業の対象」欄へは、対象の場合は「1」と、対象外の場合は「0」と記入してください。

(別添様式3号)

預託牛個体情報マッチングリスト

家畜商組合： 対象期間 (転入日) 平成 年 月 日～平成 年 月 日 平成 年 月 日 ページ

M2

(※：マッチングエラー、または融資期間内出荷) (―：マッチング項目) (上段：トレサ情報、下段：報告情報) (飼養：飼養区分、承認：承認番号)

整理番号	※	―	個体識別番号	購入資金	農家コード 預託者コード	農家名称 預託者名	―	品種	―	性別	―	生年月日	飼養場所	―	導入区分	転入年月日	売却価格	―	転出区分	転出日	と畜日	と畜場	乳用牛流通促進対策事業の対象

(トレサ受入頭数： 報告頭数： マッチング頭数： マッチングエラー頭数)

(別添様式4号)

預託牛異動状況表

家畜商組合：
金融機関：
預託者：

異動期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日
(転入・転出・死亡)

平成 年 月 日 ページ

住所：

(※：融資期間中で販売済み

(単位：頭)

S 2

※	承認番号	整理番号	個体識別番号	購入資金	飼養区分	品種	性別	生年月日	素牛購入費①	転入				転出						乳用牛流通促進対策事業の対象	支出③	売却損益②-①-③					
										転入年月日	預託開始月齢	農家コード	飼養場所	飼養者名	転出日	転出時月齢	預託期間(月齢)	売却価格②	区分				と畜場名等	と畜・子牛出生日			
	合計	—	—	—	—		—	—			—	—	—	—		—	—	—	—	—	—						
	平均	—	—	—	—		—	—			—	—	—	—		—	—	—	—	—	—						

注) 1. 転出時月齢の合計及び平均は販売時の月齢である。(死亡時の月齢は計算対象外)
2. 売却価格の合計及び平均は販売分の売却価格の合計及び平均である。(死亡は計算対象外)

(別添様式5号)

預託牛在庫評価集計表

(導入日：平成 年 月 日～平成 年 月 日まで)

平成 年 月 日 ページ

家畜商組合：

預託牛有高日：平成 年 月 日現在

(マッチのみ出力)

金融機関：

(評価区分： x x x x x x)

S 6

承認 番号	融資 金額	返済 額累 計	融資 残高	購入 資金	品種	在庫牛頭数							在庫牛素牛購入費			現在の評価額			評価増加額			
						肥育	繁殖	経産 牛	その 他	合計			今回	前回	増減	今回	前回	増減		今回	前回	増減
										今回	前回	増減										
合計																						
平均	—	—	—	—		—	—	—	—													

- 注) 1. 転出時月齢の合計及び平均は販売時の月齢である。(死亡時の月齢は計算対象外)
2. 売却価格の合計及び平均は販売分の売却価格の合計及び平均である。(死亡は計算対象外)

(別添様式7号)

預託牛在庫評価一覧表

(出生・転入期間：平成 年 月 日～平成 年 月 日まで)

平成 年 月 日 ページ

家畜商組合：

預託牛有高日：平成 年 月 日現在

金融機関：

S 5

承認番号：

融資金額： 円 返済金累計： 円 融資残高 円

整理 番号	預託 者	個体 識別 番号	購入 資金	飼養 区分	品種	性別	生年月 日	預託年 月日	飼養開 始 月齡	肥育(導入)		現 在 月 齡	素牛購 入費①	現在の 評価額 ②	担保価値 の増加額 ③ (②- ①)	仕向 け変 更年 月日
										日数	月齡					

計 在庫(預託牛)： 頭